

令和３年度 第10回 吹田市政策会議概要

日 時：令和４年（2022年）３月25日（金）午前10時35分～午前11時00分

場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

出席者：後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長、小西総務部長、中川税務部長、
岩田会計管理者、笹野消防長

所 管：【行政経営部（企画財政室）】

今峰部長、脇寺室長、津田参事、山本主任

案 件	吹田市第４次総合計画中間見直しの基本方針について
担当及び関連部局	行政経営部（企画財政室）
【案件概要】 第４次総合計画策定後の動向（中核市移行、コロナの影響など）を踏まえ、「中間見直し」として、基本計画を見直すもの。 計画期間を前半（令和元～５年度）と後半（令和６～１０年度）に分け、令和４～５年度の２か年で、見直し作業を行うもの。	
【所管部の考え方】 吹田市第４次総合計画（以下「総合計画」という。）の基本計画（政策・施策、財政運営の基本方針など）について、策定後の主な動向などを踏まえ、計画期間の折り返しを迎える機会に「中間見直し」として、必要に応じた「増補」「追補」と時点修正を行う。合わせて、附属資料及び基礎資料集も見直しを行う。 策定後の主な動向として、１.中核市移行（とりわけ保健所設置市としての感染症や地域医療に関連する役割）、２.新型コロナウイルス感染症拡大の影響（とりわけデジタル化やキャッシュレスへの対応）、３.災害の頻発、暑熱環境の悪化、４.SDGsへの貢献・寄与、５.個別計画等の策定や改定などを踏まえるものとする。	
【質疑概要】 意見： 審議会の公募委員を含め、大学生など若い世代に参画してもらえよう市民意見を取り入れる手法を検討してほしい。 意見： 審議会委員の学識経験者の構成について、DX分野の専門家には必ず入ってもらうべきである。また、災害、暑熱環境、SDGsといった視点もあるため、それに応じた専門分野での構成となるよう検討してほしい。 指示： 今後の保健医療分野の方向性を明確にした上で、中間見直しの道筋を立てていくこと。 指示： 新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた上で総合計画の進捗状況を検証し、目標達成に向けて遅れを取っている取組等は各所管に再認識してもらうこと。施策指標についても達成状況に応じた発展的見直しの可能性を含め、適切な指標となるよう検討すること。 指示： 中核市移行により本市の地方自治の在り方や権限が大きく変わったことや、自治体間連携の意義が大きくなったこと、そしてハード事業の難課題に積極的に取り組むといったまちづくりの基本姿勢等の動向を分析していくこと。また、社会的な動向として脱プラスチック、脱炭素の視点を踏まえること。	
【結果】 本件は承認された。会議で出た意見・指示を踏まえて取組を進めること。	